

つた 伝える！ く 国連の仕事

みらい かんしゃ せんたく いま 未来から感謝される選択を 今こそ



「国連開発計画」の恐竜のキャラクターで、気候変動の問題をうったえる「フランキー」が初来日したときの様子。「絶滅を避ぶな」と記されたボードを前から掲げている＝4月、奈良県川西町 © UNDP TOKYO

4月には初来日し、各地をまわって「絶滅を避ぶな」とうたったえました。私もトビの方のフランキー



ねもとかおる 兵庫県出身。東京大学法学部卒、アメリカ・コロロンビア大学大学院修了。テレビ朝日のアナウンサー、記者などを経て、1990年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）で勤務。国連世界食糧計画（WFP）広報官、国連UNHCR協会事務局長としても働いた。フリージャーナリストの活動を経て、13年8月から現職。

気候変動の問題はみなさんの将来を大きく左右します。私たちの暮らしにどんな影響が出るのか、これから何ができるか。国連広報センターでは、天気予報を伝える気象キャスターの方たちも協力し、情報を発信していきます。ぜひ自由研究や調べ学習などで、じっくりと考えてみてください。

地球温暖化をはじめとした気候変動の問題が世界中で議論されています。異常気象や気候災害が増えているからです。議論の中心にいるのは、「国際連合」（国連）です。国連の動きを日本で伝えている国連広報センターの所長、根本かおるさんも「将来を大きく左右する問題」と話します。気候変動が進むと世界はどのように変わってしまうのでしょうか。



この10年間に進むべき選択や実施する対策は、数千年先まで影響を持つ。この10年間に進むべき選択や実施する対策は、数千年先まで影響を持つ。この10年間に進むべき選択や実施する対策は、数千年先まで影響を持つ。

気候変動に関する 政府間パネル（IPCC）

各国政府などが推薦したさまざまな分野の専門家が集まる国際連合の組織です。1988年に「国連環境計画」（UNEP）と「世界気象機関」（WMO）によって設立されました。スイス・ジュネーブに本拠が置かれ、195か国・地域が加盟しています。5～7年ごとに温暖化の進み具合や影響を報告書にまとめており、去年、「第6次」が発表されました。報告書は各国の気候変動対策に役立てられています。



干ばつで乾ききった川底をほり、飲み水をくむ少女。干ばつは気候変動が進むと起こりやすくなるといわれています＝2022年1月、ケニア © 朝日新聞社

「絶滅経験者」フランキーのつったえ
世界の科学者たちが力を合わせ表しました。

「未来から感謝される選択をしたい」という思いを強くしました。一方、2023年は観測史上最も暑い年となり、地球の平均気温は産業革命前と比べて1.45度前後も高くなりました。国連のグテーレス事務総長が「地球温暖化」と表現したほどです。

気候変動は、私たちの生活と地球に大きな影響を与える深刻な問題です。大きな影響の一つは、やはり地球温暖化です。世界の平均気温は1850～1900年を基準とした場合、1.09度上昇しています。これが1.5度をこえる状況になると、熱波や干ばつ、山火事、台風・ハリケーン、洪水などがよりひんぱんに起こるようになるといわれます。そうなれば災害で人々が命を落とすだけでなく、農作物が十分にたえず、飢えて亡くなる人も増えるでしょう。海でも魚たちが減り、サンゴも姿を消すこととなります。